

国保連合会 News!!

国保くまもと Vol.244 (2021年1月号)

◆11/25 熊本市町村事務処理標準システムクラウド担当者説明会

事務処理標準システムの導入に向けた 概要等について説明

熊本市町村自治会館において、熊本市町村事務処理標準システム共同利用クラウド（以下「熊本市クラウド」という。）担当者説明会を熊本市と共同で開催し、熊本市クラウドに参加予定の県内各市町村の担当者及び委託電算会社から担当者約 80 人が参加しました。

県健康福祉部健康局国保・高齢者医療課の田中主幹からの主催者挨拶の後、同課の中尾参事から、市町村事務処理標準システム（以下「標準システム」という。）の概要や導入経緯、クラウド化による共同利用を踏まえた導入メリットなどが説明されました。

続いて、本会から、熊本市クラウドを構築する目的や標準システム導入に係る基本的な考え方、給付サブシステムを導入する場合の運用パターンについて説明を行い、熊本市クラウドの構築を担当する株式会社九州日立システムズからは、標準システム導入までの準備工程や各市町村国保システムから標準システムへのデータ移行工程等際しての市町村及び委託電算会社における検討事項について情報提供を行いました。

今後も、県や市町村などの関係者と連携しながら、円滑な導入に向けて準備を進めていきます。



説明会の様子

◆11/4～11/27 第三者行為求償事務に係る巡回支援

求償事務の窓口対応方法などについて助言

熊本市内保険者を対象に、11月4日から第三者行為求償事務に係る巡回支援を開始しました。今年度は新型コロナウイルスの影響で開始が遅れましたが、希望保険者には感染予防の協力を依頼し、十分な対策を講じながら実施しました。12月末時点で8保険者に巡回支援を行い、3月まで保険者の希望に場合に応じて、随時実施する予定です。

本支援は、第三者行為求償事務の目的や損害賠償請求に係る不法行為の内容など基本的な説明に加えて、窓口での対応方法や通常業務で抱える疑問点、各案件の相談に対応した

助言など、保険者の実情に合わせた支援を行っています。

保険者からは「窓口での対応方法が分からなかったのが助かりました」、「制度等を詳細に説明していただき、理解が深まりました」などの感想をいただいています。

来年度は、「初任者向け説明会」及び「令和3年度第三者行為求償事務担当者研修会」の実施に加えて、今年度同様、希望する保険者への巡回支援を充実していく予定です。



巡回支援の様子（八代市）

巡回支援時の説明内容

- ① 制度説明
- ② 損保会社との覚書の説明
- ③ 届出勧奨はがき事業の説明
- ④ 窓口での対応方法
- ⑤ 届出書類の説明

◆11/17～12/15 介護給付適正化実地支援

介護給付適正化システムの操作方法などを説明

県が策定した第4期熊本県介護給付適正化プログラムの目標達成に向けて、介護給付適正化事業の実施主体である県内保険者の取り組みを支援するため、県の認知症対策・地域ケア推進課と共同で、11月17日～12月15日にかけて保険者への実地支援を行いました。

実地支援では、介護給付適正化プログラムの最重点項目である「医療情報突合・縦覧点検」を中心に、介護給付適正化システムの操作方法、提供帳票の見方やデータの活用方法、適正化等による効果額の出力方法等の説明を行いました。

説明に際しては、本会からの一方的な説明とならないよう、保険者の状況や質問等を聞き取り、意見交換を行うことで保険者の実態に合わせた適正化の事務処理手順を提案するなど、事務負担の軽減に繋がるよう心掛けました。

今後も、保険者への積極的な支援を展開していく予定です。



実地支援の様子（相良村）